



深谷大上ふれあいの家で9月28日（土）に開催 “笑いとおしゃべりいっぱい市”に480人が集う

3回目を迎えた今年の“笑いとおしゃべりいっぱい市”は、大上地区社協が管理運営している深谷大上ふれあいの家と隣地の柳川広場を会場として、9月28日（土）に開催しました。



入口で出迎えた子ども人形



舞台を見ながら笑いとおしゃべりの会場

会場の入口には、隣

接する安産子育出世地蔵（願文山法正寺）にあやかた手作りの子ども人形37体が皆さんを迎え、地域の480人の皆さんが晴天に恵まれた秋の一日を楽しんでいました。

会場は、大上の皆さんの手作り品の販売を始め、社協会員や地域団体の方々が腕をふるった玉こんにゃく、棒きゅうり、味付け煮玉子、すいとん、そして赤飯や焼ソーセージ、ビールも販売され、好評を博していました。

一方、特設の舞台では大上太鼓、睦会有志によるフラダンス、カラオケ等で盛り上がりました。また、甘利経済再生大臣、笠間市長、増田市社協会長もかけつけ、地元の綱嶋議員と共にイベントを盛り上げて下さいました。挨拶された皆さんからは、「大上の地域力」「地元小学校の運動会と重なっている中での集客力」「地域とのつながりの強さ」を称賛していました。

また、当日は皆さんから提供された日用品のチャリティーバザーも行われ、売上金10,465円の全額を市社協を通して東日本大震災の被災地へ送る事が出来ました。



挨拶される左から甘利大臣、笠間市長、増田会長、綱嶋議員



フラダンス（上）と大上太鼓（下）の熱演



手作り作品の販売



玉子や赤飯も人気の販売